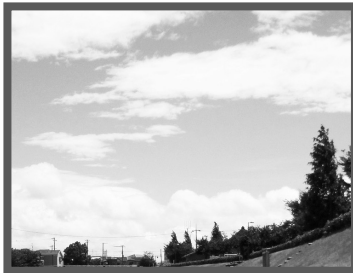


播磨町環境基本計画

～みんなで育む 豊かな環境のまち はりま～

【概要版】



平成 23 年 3 月

播 磨 町



持続可能な社会への新たな展開を図ります

計画の位置づけ及び役割

「播磨町総合計画」を環境面から補完し、個々の事業や施策が環境に配慮されたものとなるよう、また、住民、事業者が環境保全に取り組むことを支援、誘導、調整する役割を担うものです。

環境への配慮を図りつつ、環境と経済の好循環を生み出すなど、持続可能な社会への新たな展開を図ります。

計画の期間

平成23年度～平成32年度
(2011年度～2020年度)

※必要に応じて計画の見直しを行います。



計画の全体像

《めざすべき環境像》

みんなで育む 豊かな環境のまち はいま

基本目標

1

地球にやさしい
省・創エネルギーの取り組み
(地球温暖化対策)

2

ごみの減量、
リサイクル化等の推進
(循環型社会)

3

うるおいのある
自然環境の創出
(自然環境・生物多様性)

4

快適で安心安全な
生活環境の整備
(地域環境)

5

環境意識の向上と
環境学習の推進
(環境教育)

6

環境と経済の
好循環化
(環境経済)

課題解決のための施策

リーディングプロジェクト

1

地球温暖化防止・
低炭素社会づくり

2

資源循環型社会づくり

3

生きものや自然との
共生づくり

リーディングプロジェクト・・・施策推進の方向を象徴し、環境施策全般をリードする取り組み



施策の展開



地球にやさしい省・創エネルギーの取り組み（地球温暖化対策）

施策の展開

温室効果ガス排出量は、私たちが便利で快適な生活を送ることにより増加します。このため、家庭、事業者等が温室効果ガスの排出量の削減に向け、地球環境に配慮したライフスタイルへの転換を図っていきます。

総合指標

項目	現状値(H21)	目標値(H32)	備考
町内の温室効果ガス排出量	655 千 tCO ₂ (H2)	491 千 tCO ₂	△25%削減
住宅用太陽光発電システム設置件数	200 件	2,700 件	

取り組むべき施策内容

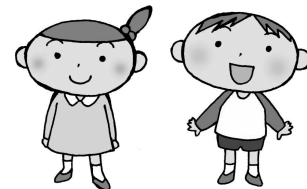
(1) 地球温暖化防止対策の組織体制の整備

(4) 環境や人にやさしい交通環境の整備

(2) 家庭における地球温暖化防止対策の推進

(5) 再生可能エネルギーの効率的な利用促進

(3) 事業活動における地球温暖化防止対策の推進



ごみの減量、リサイクル化等の推進（循環型社会）

施策の展開

住民・事業者・行政が目標を共有しながら、それぞれの担うべき責任と役割を分担し、ライフスタイルや社会経済システムの変革により持続的発展可能な循環型社会を形成します。

総合指標

項目	現状値(H21)	目標値(H32)	備考
年間ごみ排出量	10,760 t	9,500 t	家庭系ごみ及び事業系ごみ
1日一人当たりのごみ排出量	960 g	860 g	

取り組むべき施策内容

(1) 4R活動の推進及びグリーンコンシューマーの育成

(3) 事業系ごみの減量化・資源化の推進

(2) 家庭ごみの減量化・資源化の推進

(4) 廃棄物の適正処理の確保

3

うるおいのある自然環境の創出（自然環境・生物多様性）

施策の展開

人や環境に配慮した生活空間の整備を推進し、魅力的な都市景観が保全・形成された、やすらぎとうるおいのあるまちをめざします。

総合指標

項目	現状値 (H21)	目標値 (H32)	備考
町内の生物種数の把握	町内に生息する動植物の調査		
生物多様性の認知度	—	70%	住民アンケート等の「生物多様性」を聞いたことがある・知っている人の割合

取り組むべき施策内容

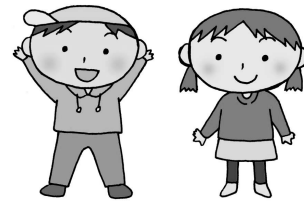
(1) 生物多様性への配慮、自然保護意識の普及啓発

(4) 生活排水対策の推進

(2) 歴史的、文化的資源の保護

(5) 緑化の推進、やすらぎの緑空間の整備

(3) 水や土壌環境の監視などの推進



4

快適で安心安全な生活環境の整備（地域環境）

施策の展開

人の健康や生活環境への被害が生じる恐れのある公害問題への取り組みは、快適な生活環境を確保する上での基本であり、環境保全施策の原点であることを踏まえ、公害関連法令の遵守を通じて公害防止の徹底を図り、住民が健康で安心して暮らせることのできるまちをめざします。

総合指標

項目	現状値 (H21)	目標値 (H32)	備考
環境美化・緑化活動への参加者数	4,000 人	5,000 人	
住みやすいと感じている住民の割合	76%	90%	住民アンケート調査等の数値（「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」の合計）

取り組むべき施策内容

(1) 環境と調和のとれた生活空間の整備

(4) 悪臭防止対策の推進

(2) 大気環境の保全対策の推進

(5) 事業所の排水監視、指導の実施

(3) 騒音・振動対策の推進

(6) 住民、事業者のモラル・マナーの向上

5

環境意識の向上と環境学習の推進（環境教育）

施策の展開

環境保全の人づくりと地域づくりを一体的に捉えて、地域の特性を活かした環境活動の実践を通じた地域コミュニティの形成をめざします。

環境保全に対して、責任ある行動を自主的・主体的に活動できる人材を育成するために、学校・家庭・地域・職場等の多様な場、機会での環境教育・環境学習の充実を図り、環境とくらしの調和をめざします。

総合指標

項目	現状値(H21)	目標値(H32)	備考
環境学習会の参加者数	11%	40%	学校や地域における環境学習会への参加者数
地球温暖化防止活動推進員数	1人	10人	環境活動に当たる人材の確保と活用

取り組むべき施策内容

(1) 地域コミュニティ活動の支援

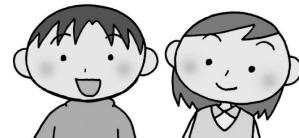
(4) 地域における環境学習の支援

(2) 地域の環境特性を活かした取り組みの推進

(5) 環境活動における人材の育成

(3) 学校における環境教育の充実

(6) 環境情報の共有と発信



6

環境と経済の好循環化（環境経済）

施策の展開

事業者、住民などあらゆる主体の消費活動も含めた社会経済活動において、環境の価値が正しく評価され、それが実際の活動に反映されるまちをめざします。

総合指標

項目	現状値(H21)	目標値(H32)	備考
ISO14001 認証取得事業者数	13社	30社	
環境報告書発行事業者数	13社	50社	

取り組むべき施策内容

(1) 環境に配慮した事業者の育成、増大

(3) 環境影響評価の推進

(2) 環境産業の創出・育成

(4) グリーンコンシューマー活動の推進



リーディングプロジェクトの展開



“地球温暖化防止・低炭素社会づくり”プロジェクト

ねらい

一人ひとりが身近な家庭生活や事業活動から、CO₂削減に取り組んでいただくため、家庭の中でできる省エネ活動の実行や新エネルギー等の導入をめざすなど、各種団体・事業者等と連携し、温暖化の防止・低炭素社会づくりの実践を行います。

推進のための取り組み

- ① 環境にやさしい商品購入、省エネ・省資源の取り組み
- ② 緑のカーテン取り組みの推進
- ③ 再生可能エネルギーへの取り組み



“資源循環型社会づくり”プロジェクト

ねらい

一人ひとりがライフスタイルを再考し、身近な生活の中でできることを実践し、積み重ねていくことにより、持続可能な社会の構築をめざしたプロジェクトに取り組めます。町内で活動するすべての人が協力し合い、循環型社会を実現します。

推進のための取り組み

- ① 4R 運動の推進
- ② フリーマーケットの開催
- ③ 不法投棄の撲滅



“生きものや自然との共生づくり”プロジェクト

ねらい

地球の環境を考える上で最も重要な水を守るために、水を生みだす森から、水を運ぶ川、豊かな資源を育てる海までの地域が一体となった自然環境保全に取り組めます。

播磨ふれあいの家「多々良木山荘」がある朝来市で山林を借り、手入れ作業を通じてさまざまな自然体験をすることにより自然の大切さを認識する環境教育の場として利用していくほか、休耕田やため池を活用し、生物多様性に配慮した播磨町にふさわしいビオトープづくりなどを通じて、住民の環境学習への参加を促します。

推進のための取り組み

- ① 水辺（川、海、ため池）の保全
- ② 休耕田の利活用
- ③ ふれあいの森づくり

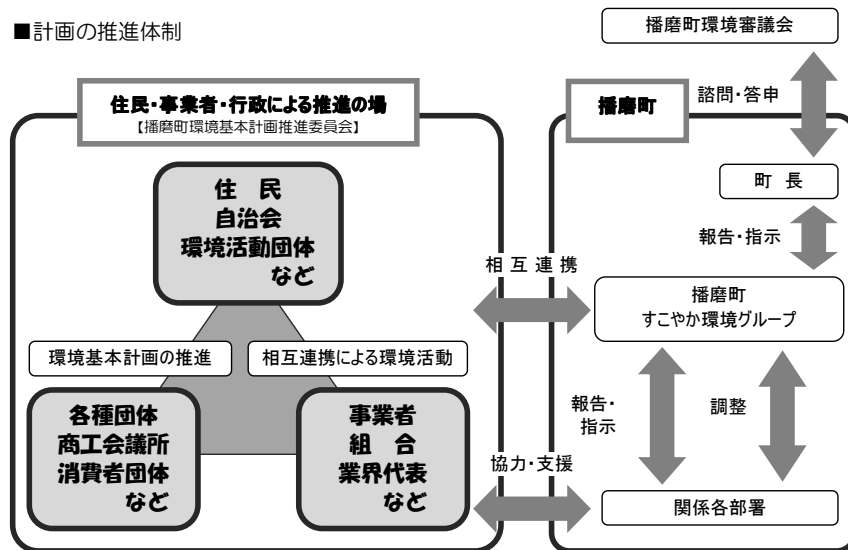


計画の進行管理

計画の協働体制

■計画の推進体制

播磨町環境基本計画に
あける環境施策に取り組
むために、地域の各主体
の参画と連携による推進
を図る体制の整備を行いま
す。



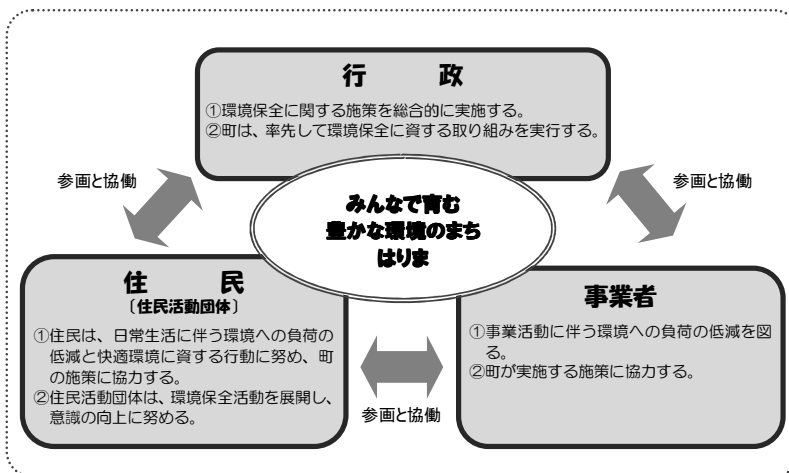
計画の協働体制

■住民・事業者・行政の連携・協働体制イメージ図

本計画の推進にあたって
は、行政・住民・事業者がそ
れぞれの役割を認識し、協働
で取り組むことが必要です。

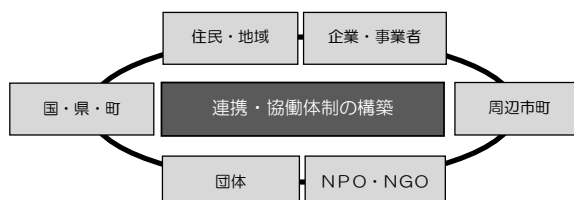
その中で、町の役割は、計
画の実現に向けて、環境保全
に関する施策を総合的・計画
的に推進することにあり、環
境保全の基盤づくりに取り
組む必要があります。

さらに、行政が率先して環
境への負荷の低減を図るた
め、環境保全に資する事務改
善行動を、積極的に継続実施
する必要があります。



「参画と協働」の波及効果

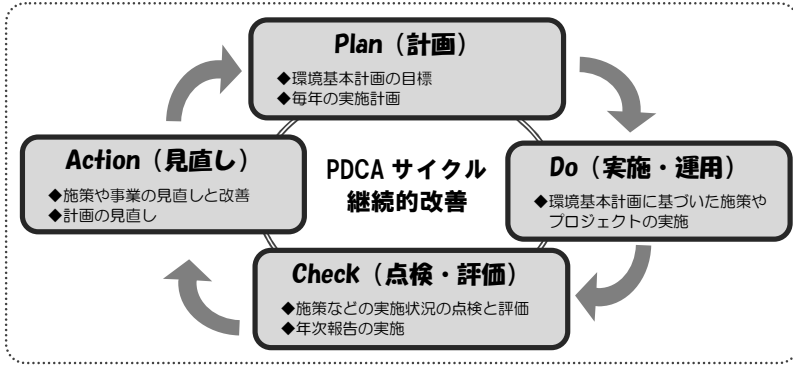
- 環境を取り巻く状況をしっかりと把握することで体制づくりに活かす
- より効果的な事業の実施に活かす



計 画 の 協 働 体 制

■PDCA サイクルイメージ図

環境基本計画の推進にあたっては、環境マネジメントシステムの考え方を採り入れて、PDCA サイクルにより計画の進行管理を行います。
 なお、進行管理については、播磨町環境基本計画推進委員会が行うものとします。



わたしたちにできることから始めましょう！

- | | |
|--|--|
| <p>1 家電製品の更新時などには省エネタイプのものを選択しましょう。</p> <p>省エネ </p> | <p>6 地域の環境美化活動やボランティア活動に積極的に参加しましょう。</p> |
| <p>2 エコマークやグリーンマークなど環境への負荷が少ない製品やサービスを優先的に購入するようにしましょう。</p> | <p>7 冷房は 28℃、暖房は 20℃を目安に調整しましょう。</p> |
| <p>3 買物の際はマイバッグを持参し、レジ袋や過剰な包装は断るようにしましょう。</p> | <p>8 ムダな待機電力の消費を少なくするため、使っていない電化製品は主電源を切ったり、プラグをコンセントから抜きましょう。</p> |
| <p>4 食べ物は近くでとれたものや旬のものを食べるようにしましょう。</p> | <p>9 外出する時は、できるだけ自動車の使用を控え、バス・電車などの公共交通機関を利用しましょう。</p> |
| <p>5 自動車を運転する時は急発進・急加速をしない、 unnecessaryなアイドリングはしないなど、エコドライブを心がけましょう。</p> | <p>10 不用品はリサイクルやフリーマーケット、バザーなどに出し、有効利用しましょう。</p> |

播磨町環境基本計画【概要版】 ～みんなで育む 豊かな環境のまち はりま～

発行年月：平成 23 年 3 月
 発行：播磨町すこやか環境グループ
 〒675-0182 兵庫県加古郡播磨町東本荘 1 丁目 5 番 30 号
 TEL: 079-435-0355(代表) FAX: 079-435-0831